



One to Five Wooden Blocks

ナンバーブロックス 木製ブロック 1-5

はじめに

1、2、3、4、5！

ナンバーブロックスの木製ブロックで遊びながら、数について学びましょう。子どもたちは、ブロックを積み重ねてキャラクターを作ったり、数を数えたりしながら、数字の識別や数え方、足し算や引き算といった初期の算数スキルを身につけていきます。

また、ブロックの積み重ね方を変えて様々なポーズのキャラクターを作ること、指先を上手に使う力や、見たものに合わせて手を動かす力も育まれます。最後にナンバーリングを取り付けたら完成です！

セット内容

木製ブロック×15

- ・赤×1
- ・オレンジ×2
- ・黄×3
- ・緑×4
- ・青×5

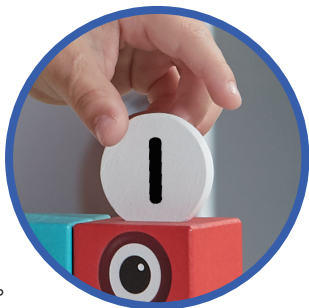


ナンバーブロックをつくろう！

まずは、ブロックを色ごとに分けてもらいます。左からブロックの数が少ない順（赤→オレンジ→黄→緑→青）に並べたら、それぞれのブロックの数を数えるよう子どもに言いましょう。

数え終わったら、それぞれのブロックを1列に積み上げて5つのキャラクターを作ります。左のキャラクターよりもブロックの数が1つ多くなっていることを教えましょう。

ナンバーブロックの頭の上には“ナンバーリング”があり、それがそのキャラクターの数を表していることを説明します。全てのキャラクターに正しいナンバーリングをつけることができるでしょうか？



アクティビティ

■みんな順番通りかな？

スキル：1～5の数え方・数字の順番

エピソード：Off We Go

ブロックを色ごとに分けます。左から緑→赤→黄→青→オレンジのように、順番を入れ替えて並べ、子どもに見せましょう。子どもはそれぞれのナンバーブロックを組み立てるとき、順番が間違っていることに気づくでしょうか？正しい順番に並べ替えることはできますか？

ナンバーブロックといっしょに、数字の正しい順番を覚えるためにこんな風に言ってみましょう：

みんないるかな？

どうやったら分かる？

そうだ、あの歌！

せーので歌おう！

いちばん小さい数字は左！

いちばん大きい数字は右！

1、2、3、4、5！パッチリ！

■いろいろな形が作れるよ！

スキル：数の保存

エピソード：Stampolines

ナンバーブロックの楽しいところのひとつは、ブロックの並び方を自由に変えられるところです！例えば、ナンバーブロック③は縦に3つ並べた形

が多いですが、ナンバーブロックス④は2ブロックずつ並べて正方形になるのが大好きです。ブロックの並び方が変わっても、全体の数は変わりません。キャラクターごとにいろいろな形を作ってもらいましょう。



ブロックの数が多いほど、作れる形が増えることに気づくはずですよ。「Stampolines」のエピソードを見て、ナンバーブロックスがどんな形を作れるかチェックしてみましょう。

※「数の保存」とは、見た目や配置が変化しても数そのものは変わらないという考え方です。

■わたしってどんな形？

スキル：数のしくみ・足し算・引き算

エピソード：The Whole of Me

ナンバーブロックスは、くっついて新しい数を作ったり（合成）、分かれて別の数になったり（分解）できることを子どもに伝えましょう。

例として、ナンバーブロックス①を②の上に重ねて見せます（どちらもナンバーリングは外します）。次に、その横に③を置きましょう。

1と2を合わせると、3と同じ高さになることを教えて、ブロックを1つずつさわりながら、数を足したり（ $1+2=3$ ）引いたり（ $3-1=2$ ）して子どもと一緒に確認しましょう。他のナンバーブロックスでもいろいろ試して楽しく遊んでみましょう！

■奇数と偶数

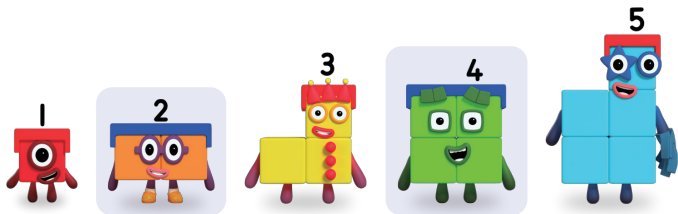
スキル：奇数と偶数の理解・等しいグループ作り

エピソード：Odds and Evens

下図のように、ナンバーブロックを2ブロック幅で組み立てることで、奇数か偶数かを調べることができます（①を除く）。

どんなことに気づくでしょうか？2列で組み立てると、2と4は1番上が平らになる、つまり、2のかたまりでできているので“偶数”ということを教えましょう。一方で、1、3、5は、上に1つだけブロックが乗った形になります。つまり、2で分けることができないので“奇数”です。

数字順に並べたときには、必ず偶数の両隣に奇数が並んでいることにも注目しましょう。



**Dream
Blossom**

発売元：
株式会社ドリームブロッサム
〒880-0123 宮崎県宮崎市芳土607
TEL: 0985-72-6622
www.dreamblossom.jp